



環境会計

当社では環境保全活動に要したコストやその効果を環境会計として把握し、企業経営に活かしています。

2000年度の環境会計への取り組み

2000年度の環境会計は、環境省より公表された「環境保全コストの把握及び公表に関するガイドライン」を参考に、下表3項目の分類でデータ集計を実施しました。

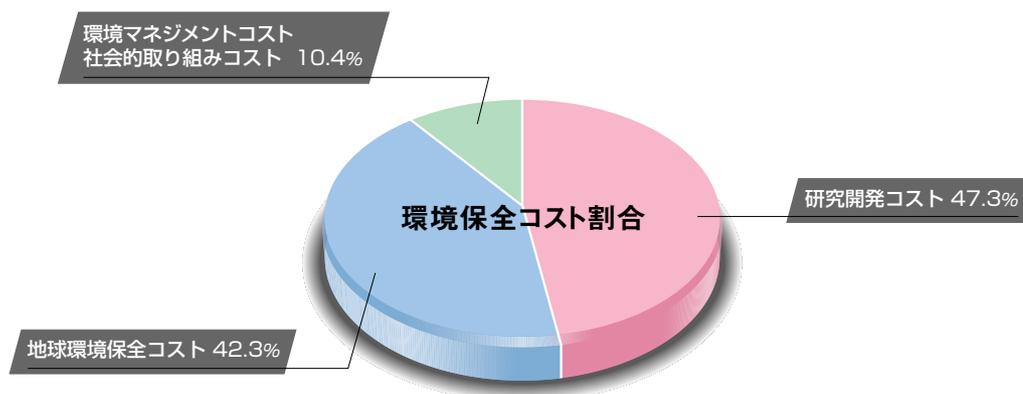
2000年度の環境保全コストの分類と実績

2000年度は環境会計を導入した初年度にあたり、環境保全コストの分類については試行錯誤の連続でした。当社として一定の基準を設けて算出した結果、2000年度における環境会計は総額で約12億5千万円となりました。その内訳は下表のようになっています。

コスト分類	主な内容	環境保全コスト※1	環境投資※2	合計
① 研究開発コスト	環境負荷低減のための研究・開発費用、その他	533.8	57.2	591.0
② 地球環境保全に係わるコスト	公害防止費用、廃棄物処理費用、排水処理設備の維持管理費用、その他	423.9	104.3	528.2
③ 環境マネジメントシステムの維持運用に係わるコスト 社会的取り組みコスト	ISO14001維持・更新審査の費用、ISO14001事務局の件費用、その他	129.7	—	129.7
合計		1,087.4	161.5	1,248.9

※1：環境保全コストとは、環境保全施設の運転及び維持管理に要した金額
※2：環境投資とは、環境保全施設の設備投資金額

単位：百万円/年



今後の環境会計への取り組み

環境会計の進むべき方向としてその精度を高め、投資効果を把握していく必要があります。2001年度の環境会計は、環境保全コストの分類をさらに明確にすることでデータ収集の精度向上を図ります。また、2002年度以降費用に対する投資効果の把握に取り組むなど段階的に進めていきたいと考えています。